

# Arcstar Smart PBX

ver. 3.0

## アプリ操作マニュアル for Android

2020年 11月

# 目次

## 基本画面 P.4

- 発信画面
- 発信中画面
- 着信中画面
- ステータスバーの説明

## 電話をかける P.9

- 電話をかける
- 電話帳から電話をかける
- お気に入りから電話をかける
- IP電話モードと携帯電話モードについて
- 携帯電話モードで電話をかける
- 携帯電話モードの事前設定
- 携帯電話モード発信ボタンの優先設定
- 携帯電話モード発信時の通知設定

## 電話をうける P.19

- 電話をうける
- コールピックアップ
- パーク応答

## 通話中の操作 P.23

- 通話中画面
- パーク保留
- 保留転送
- ブラインド転送
- 転送キャンセル
- Bluetooth機器を用いた通話

## 留守番電話機能 P.31

- 留守番電話を設定する
- 留守番録音されたメッセージを再生する

## 電話帳機能 P.33

- 電話帳を開く
- 新しいグループを作成する
- グループを編集する
- お気に入りに連絡先を登録する
- お気に入りに登録されている連絡先を削除する

## 各種設定 P.41

- 設定一覧から各種情報を確認・変更する
- 設定一覧画面各ボタン機能紹介
- 内線番号を確認する
- 内線番号設定値をクリアする
- アプリの設定画面各ボタン機能紹介
- 着信方法を選択する
- 電話帳サービスを設定する
- プッシュ通知を設定する
- 高度な設定画面各ボタン機能紹介
- ネットワークモニタを設定する
- 通話終了ボタンを変更する
- Arcstar Smart PBXの通話音量を設定する
- デフォルトの通話アプリ設定を解除する
- デフォルトの通話アプリを設定する
- アプリのバージョン情報を確認する
- このアプリのバージョンを表示する
- アプリを終了する
- アプリをアンインストールする
- アプリの着信音を変更する
- 音声帯域を変更する
- 機能ボタンの表示/非表示を切り替える

# 目次

## トラブルシューティング P.65

- ログを記録する
- ログを停止する
- ログをメールで送る
- ログを削除する
- 通話不可状態からの手動回復

## 接続状態測定 P.75

- 自動モニタリング
- 手動モニタリング
- 通話中モニタリング
- 着信中モニタリング

## Universal One連携 P.80

- Universal One接続設定画面各ボタン機能紹介
- 接続モードを設定する
- Wi-Fi SSIDを設定する
- Wi-Fi SSIDを削除する
- IP電話サーバのアドレスモードを設定する

## 本アプリケーションのご利用について P.86

- 制約事項
- Bluetooth利用時の注意事項

※ 本マニュアルの画面イメージは実際の表示とは異なる場合があります。  
※ 電話帳サービス設定については「アプリ操作マニュアル・電話帳サービス設定編 (Android)」をご確認ください。

# 基本画面

# 基本画面

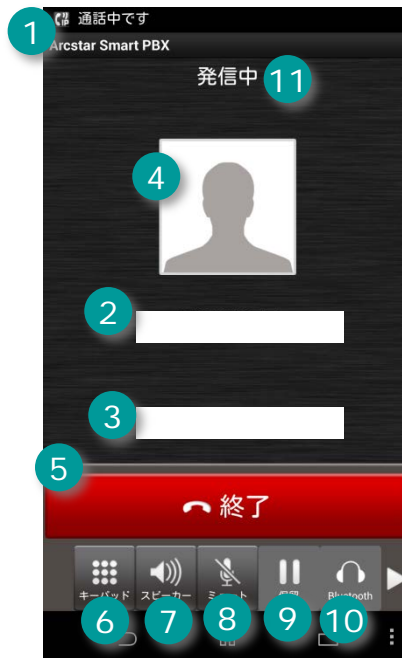
## 発信画面



	機能名	機能説明
①	電話番号欄	入力した電話番号を表示します。
②	発信先件名	電話番号欄に対応する発信先名称を表示します。
③	12キーボタン	電話番号を入力するためのキーパッドです。「0」キーの長押しにより「+」が入力されます。
④	プライベート通話ボタン	標準携帯発信を行います。
⑤	IP電話発信ボタン	IP電話発信を行います。
⑥	Deleteボタン	入力した電話番号を削除します。タップすると末尾の文字、長押しで全て削除します。
⑦	登録ボタン	電話番号欄に表示している電話番号を連絡先に登録することができます。
⑧	ピックアップボタン	同一グループに属する電話への着信に応答します。
⑨	パーク応答①～③ボタン	同一グループに属する保留中の通話に応答します。
⑩	留守録再生	不在時に録音された伝言を再生します。

# 基本画面

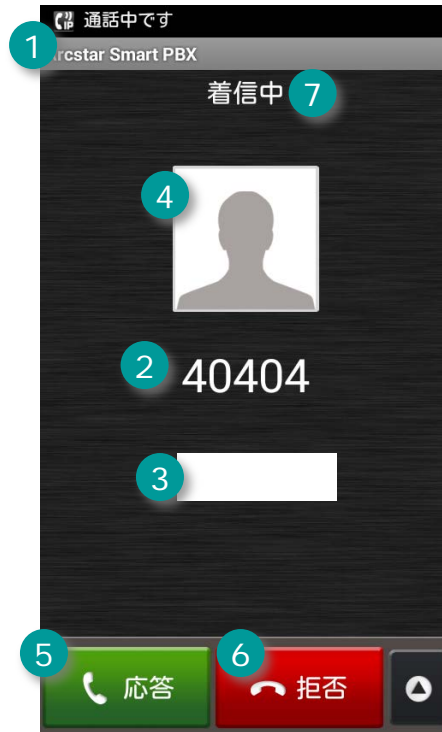
## 発信中画面



	機能名	機能説明
1	タイトルバー	「Arcstar Smart PBX」を表示します。
2	発信先電話番号	発信先の電話番号を表示します。
3	発信先件名	発信先電話番号に対応する発信先名称を表示します。
4	登録画像	発信先電話番号に対応する画像を表示します。登録画像が存在しない場合、デフォルトの画像を表示します。
5	発信終了ボタン	発信処理を終了させ、終了画面に移ります。
6	キーパッドボタン	キーパッド画面を表示します。
7	スピーカーボタン	スピーカーから音声を再生させます。
8	ミュートボタン	送信音声を消音します。
9	保留ボタン	通話を保留します。
10	Bluetooth	Bluetoothヘッドセットから音声を出力します。
11	ステータス欄	「発信中」と表示します。

# 基本画面

## 着信中画面



	機能名	機能説明
1	タイトルバー	「Arcstar Smart PBX」を表示します。
2	相手先電話番号	相手先の電話番号を表示します。
3	相手先件名	相手先電話番号に対応する相手先名称を表示します。
4	登録画像	相手先電話番号に対応する画像を表示します。登録画像が存在しない場合、デフォルトの画像を表示します。
5	応答ボタン	着信に応答します。
6	拒否ボタン	着信を拒否させ、前画面に移ります。
7	ステータス欄	「着信中」と表示します。

# 基本画面

## ステータスバーの説明

1

Arcstar Smart PBXのIP電話の状態を表します。



表示	説明
	通話可能な状態です。
	通話するためネットワークに接続中です。
	接続状態が不安定です。
	通話不可状態です。 (設定が誤っています。) ※ この状態のときは発信ボタンがタップできません。
	圏外状態です。 (ネットワークが繋がっていない状態です。) ※ この状態のときは発信ボタンがタップできません。
	通話中状態です。
	アプリをバージョンアップしてください。
	新着の不在着信が存在することを表しています。 複数の不在着信がある場合、本アイコン上に不在着信の数が表示されます。新着の不在着信がある場合、本アイコンはステータス表示域に追加されます。履歴を参照すると本アイコンは消去されます。



# 電話をかける

# 電話をかける

## 電話をかける

キーパッドを利用して電話をかける相手の電話番号を入力します。  
内線通話の場合は相手の内線番号を入力してください。  
外線通話の場合は相手の外線番号を入力してください。  
(外線通話は別途、外線サービスのお申込みと外線接続の設定が必要となります)




### ▼通話相手の指定方法

- ①キーパッドからダイヤルボタンをタップして相手の電話番号を入力する
- ②「お気に入り(ワンタッチコール機能)」から連絡先を指定する(P.13)
- ③「電話帳」から連絡先を指定する(P.12)
- ④「発着信履歴」から連絡先を指定する




1

ホーム画面上の  をタップし、ダイヤルボタンをタップして相手先の電話番号を入力します

※番号を間違えた場合：Deleteキー  で間違えた番号を削除してください

※携帯電話の標準のキーパッドに相手先の電話番号を入力して[発信]をタップし、発信アプリ選択画面で[Arcstar Smart PBX]をタップしても、ダイヤルボタンの画面に移ります。相手先の番号は既に入力されているので、[IP電話]をタップすれば電話がかかります。

2

 をタップします(電話がかかります)

※[プライベート通話]ボタンをタップするとスマホ端末からの発信(090/080など)となります



### 国際通話の折り返し発信

国際通話に折り返し電話をかける場合は、連絡先を指定した後、「\*」を長押ししてください。番号の先頭に国際通話に必要な「+」が表示されます。

# 電話をかける

3


通話が終わったら、 をタップします(通話が終了します)



3

4



Android端末のメニューキーを表示させ  をタッチすると「Arcstar Smart PBX」を完全に終了させることができます。

4

# 電話をかける

## 電話帳から電話をかける

電話帳から電話をかける相手の電話番号を選択します



1 ホーム画面上の をタップ→電話帳ボタン をタップすると電話帳が表示されます

2 電話帳画面から電話をかける相手をタップします  
※1つの連絡先に複数の電話番号が登録されている場合は、発信する電話番号をもう一度指定する必要があります

3 連絡先情報画面に遷移しますので、画面内の発信ボタンをタップします。

4 キーボード画面に通話相手の電話番号が正しく表示されていることを確認し、  
 をタップします(電話がかかります)

※電話帳サービスの利用には別途契約が必要です。



※電話帳サービス設定についてはP.48をご確認ください。


# 電話をかける

## お気に入り(ワンタッチコール機能)から電話をかける

電話をかける相手の電話帳をお気に入りから呼び出し、簡単に電話をかけることができます



1 ホーム画面上の  をタップして、電話帳ボタン  をタップします

2  から、登録されている連絡先をタップするとキーパッド画面に遷移します

3 登録されている番号がキーパッド画面に入力された状態に遷移しますので、発信ボタンをタップして電話をかけることができます

# 電話をかける

## IP電話モードと携帯電話モードについて

### 携帯電話モードとIP電話モードの違い

#### 【IP電話モード】

データ通信用のネットワークを利用して通話するので、混雑した場所などでは通話品質が不安定になる場合があります。

携帯電話宛への通話料は16円/1分(税込17.6円/1分)、固定電話宛へは8円/3分(税込8.8円/3分)です。

内線通話だけでなく、NTTコミュニケーションズや無料通話先プロバイダの050番号への通話も無料通話となりお得です。

#### 【携帯電話モード】

音声通信用のネットワークを利用して通話するので、通話品質が安定しています。

携帯電話宛への通話料は30円/1分(税込33円/1分)、固定電話宛へは20円/1分(税込22円/1分)です。(内線通話はできません。)

※ 携帯電話モードは「ビジネスモバイル」をご契約の方がご利用いただけます。

### ビジネスモバイルについて

ビジネスモバイル「0035-43」を先頭につけて発信する、企業向けの国内通話サービスです。

携帯端末・通信キャリアを問わず、専用のスマホアプリや簡単なダイヤル操作で発信でき、電話番号も通話品質もそのまま、あらゆるビジネスシーンにお使いいただけます。

社員個人の携帯端末やスマートフォンを使っても、専用アプリや「0035-43」を付けて発信した通話料は自動的に会社へ請求しますので、BYOD利用に最適です。通話品質も携帯電話と同様なので安心してお使いいただけます。

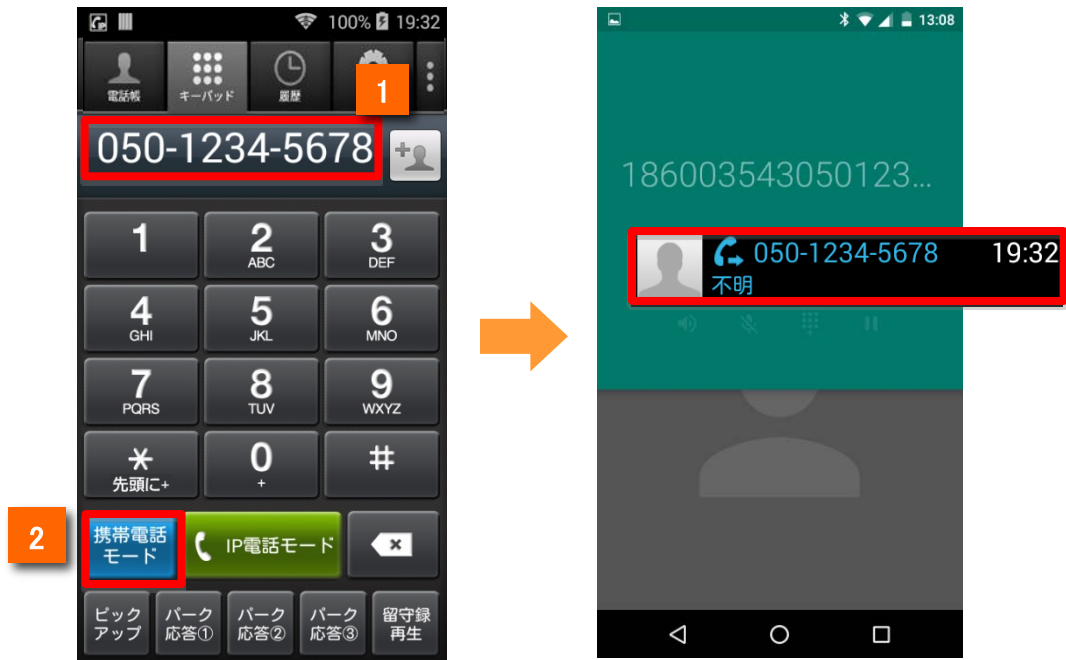
ビジネスモバイルのサービス内容はNTTコミュニケーションズのサイトをご参照ください。

<https://www.ntt.com/business/services/mobile/discount-byod/business-mobile.html>

# 電話をかける

## 携帯電話モードで電話をかける

※ 携帯電話モードは「ビジネスモバイル」をご契約の方がご利用いただけます。



1

ダイヤルボタンをタップして相手先の電話番号を入力します

※番号を間違えた場合：Deleteキー  で間違えた番号を削除してください

2



をタップします(携帯電話モードで電話がかかります)

※携帯電話モードで発信した電話番号はアプリの発信履歴に青文字で登録されます。

※[携帯電話モード]ボタンをタップすると携帯電話からの発信、[IP電話モード]ボタンをタップするとIP電話からの発信となります。

※ 携帯電話モードを解除する場合は [携帯電話モード] ボタンを1秒以上長押し、

ボタン表示が  から、  に変わったことを確認した上で、発信してください。

※ 携帯電話モードでの発信では、発信番号の先頭に「184003543(非通知の場合)」「186003543(通知の場合)」が付加されます。「通知」・「非通知」の設定方法については、P.18「携帯電話モード発信時の通知設定」をご参照ください。

# 電話をかける

## 携帯電話モードの事前設定



携帯電話発信設定の[発信ボタン設定]をタップすると、発信ボタン設定画面が表示されますので、[携帯電話モード・プライベート通話を表示]または[携帯電話モードのみ表示]を選択してください。

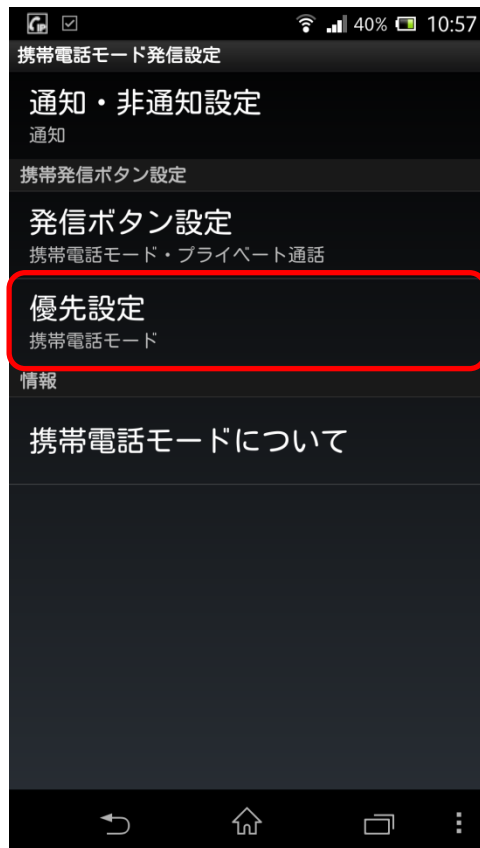
### 機能紹介

1	携帯電話モード・プライベート通話を表示	キーパッド画面の左側の発信ボタンを「プライベート通話」 <small>プライベート通話</small> と「携帯電話モード」 <small>携帯電話モード</small> で切り替えることができますようにします。キーパッド画面の左側の発信ボタンを長押しすることで、携帯電話モードとプライベート通話を切り替えることができます。発信ボタンの優先表示は、優先設定による設定が可能です。
2	携帯電話モードのみ表示	キーパッド画面の左側の発信ボタンが「携帯電話モード」に固定されます。キーパッド画面で、携帯電話モードボタンを長押しすることで、携帯電話モードを解除できます。
3	表示しない	キーパッド画面の左側の発信ボタンを非表示にします。



# 電話をかける

## 携帯電話モード発信ボタンの優先設定



携帯電話発信設定の[優先設定]をタップすると、発信時の優先設定画面が表示されますので、[携帯電話モード]を選択してください。

機能紹介		
1	携帯電話モード	キーパッド画面の左側の発信ボタンが「携帯電話モード」に固定されます。 キーパッド画面で、携帯電話モードボタンを長押しすることで、プライベート通話に変更することができます。
2	プライベート通話	キーパッド画面の左側の発信ボタンが「プライベート通話」に固定されます。 キーパッド画面で、プライベート通話ボタンを長押しすることで、携帯電話モードに変更することができます。

# 電話をかける

## 携帯電話モード発信時の通知設定



1 アプリの設定の[携帯電話モード発信設定]をタップすると、携帯電話モード発信の設定画面が表示されます。

2 携帯電話モード発信設定の[通知設定]をタップすると、携帯電話モード発信時の通知設定画面が表示されます。

### 機能紹介

1	通知	携帯電話モード発信が「通知」に設定されます。 キーパッド画面から携帯電話モードで発信した場合、相手先には端末の050番号が通知されます。
2	非通知	携帯電話モード発信が「非通知」に設定されます。 キーパッド画面から携帯電話モードで発信した場合、相手先には非通知での着信であることが表示され、端末の050番号は通知されません。

# 電話をうける


# 電話をうける

## 電話をうける

電話がかかってくると、着信中画面が表示されます。



1

着信中画面上の、 をタップすると電話をうけることができます。

2

通話が終わったら、 をタップします（通話が終了します）

# 電話をうける

## コールピックアップ

同じグループに登録されている他端末への着信に応答することができます。  
コールピックアップをご利用いただくためには、事前にWeb設定変更サイトでコールピックアップグループを設定いただく必要があります。  
設定方法については、Web設定変更サイトユーザマニュアルをご確認ください。



1

キーボード画面の **ピックアップ** ボタンをタップすると、発信中画面が表示された後通話中画面となり、電話を受けることができます。

# 電話をうける

## パーク応答

パーク保留されている通話に応答することができます。  
※パーク保留の方法は、パーク保留 (P.25) を参照してください。

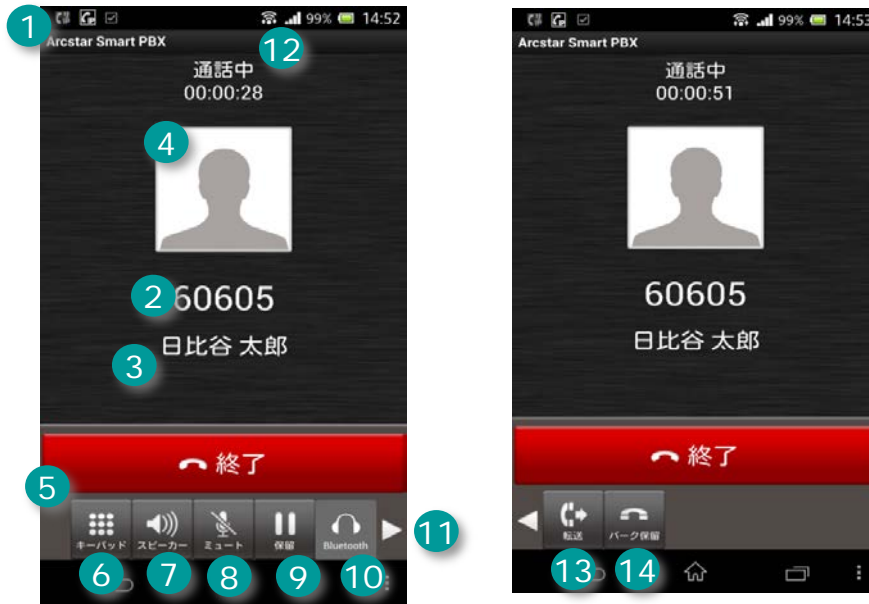


1 キーパッド画面の、パーク 応答①、パーク 応答②、パーク 応答③ ボタン(パーク保留時に流れる保留番号)をタップすると、発信中画面が表示された後通話中画面となり、電話を受けることができます。

# 通話中の操作

# 通話中の操作

## 通話中画面



	機能名	機能説明
1	タイトルバー	「Arcstar Smart PBX」を表示します。
2	発信先電話番号	発信先の電話番号を表示します。
3	発信先件名	発信先電話番号に対応する発信先名称を表示します。
4	登録画像	発信先電話番号に対応する画像を表示します。登録画像が存在しない場合、デフォルトの画像を表示します。
5	通話終了ボタン	通話を終了します。
6	キーパッドボタン	キーパッド画面を表示します。
7	スピーカーボタン	スピーカーから音声を再生させます。
8	ミュートボタン	送信音声を消音します。
9	保留ボタン	通話を保留します。
10	Bluetooth	Bluetoothヘッドセットから音声を出力します。
11	次メニュー表示	「転送」「パーク保留ボタン」を表示します。
12	ステータス欄	「通話中」と表示します。
13	転送ボタン	通話を転送します。
14	パーク保留ボタン	通話をパーク保留します。




# 通話中の操作

## パーク保留

通話を一時中断して、相手の方に待っていただく場合に利用します。



1 通話中画面で、 ボタンをタップし、転送・パーク保留ボタンを表示させます。

2 パーク保留ボタン  をタップします。音声ガイダンスでパーク応答の割り当て番号(1001~1003)が流れます。

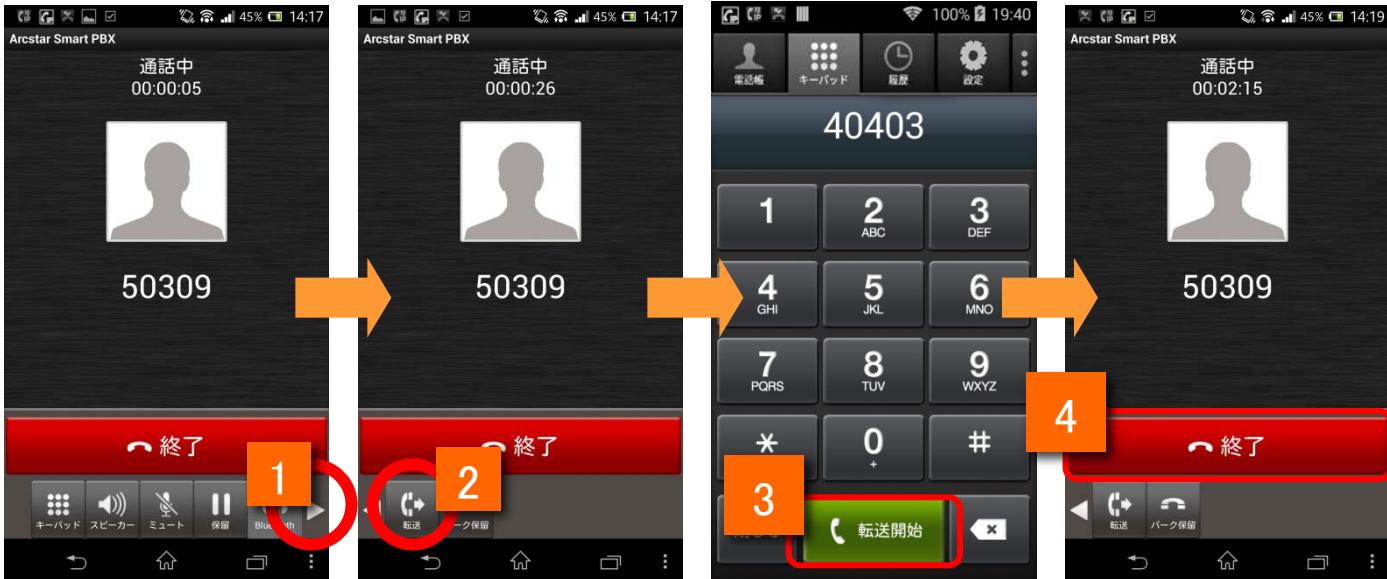
保留した番号が音声で通知されたあと、通話が切断され、通話前の画面に戻ります。

※パーク応答の方法は、パーク応答(P.22)を参照ください。


# 通話中の操作


## 保留転送


通話を一時中断して、他の電話に取りつぐ場合に利用します。



1 通話中画面で、 ボタンをタップし、転送・パーク保留ボタンを表示させます。

2 転送ボタン  をタップし、キーパッド画面を表示させます。  
(転送ボタンをタップすると、通話相手には保留音が流れます)

3 ダイヤルボタンをタップして相手先の電話番号を入力して、 ボタンをタップします。  
(お気に入り、電話帳、履歴より選択することも可能です)

4 転送先が応答すると、転送先との通話が可能になります。  
 ボタンをタップすると、転送が完了し、転送先と通話相手との通話が始まります。(通話前の画面に戻ります。)

※保留転送後、転送先が不在のため、再度「保留転送」を実施する場合は、転送処理が完了し、通話状態に戻った後に実施してください。転送処理の途中で「転送ボタン」をタップすると、片通話の状態になる場合があります。(片通話の状態が発生した場合は、「閉じる」ボタンをタップすると、通話状態に戻ります。)

# 通話中の操作

## ブラインド転送

ブラインド転送とは直接転送のことです。通話を取り次ぐ転送者が通話中にブラインド転送の操作を行うことで通話から抜け、発信元（転送される相手）と転送先が直接つながります。



1 通話中の状態で、「ダイヤル」ボタンをタップします。

2 キーパッド画面が表示されます。「\*1」をダイヤルします。  
※「\*1」をダイヤルすると、通話相手には保留音が流れます。

※転送先番号の入力誤りや制限時間内のダイヤル操作ができなかった場合、「転送に失敗しました」というガイダンスの後、通話状態に戻ります。

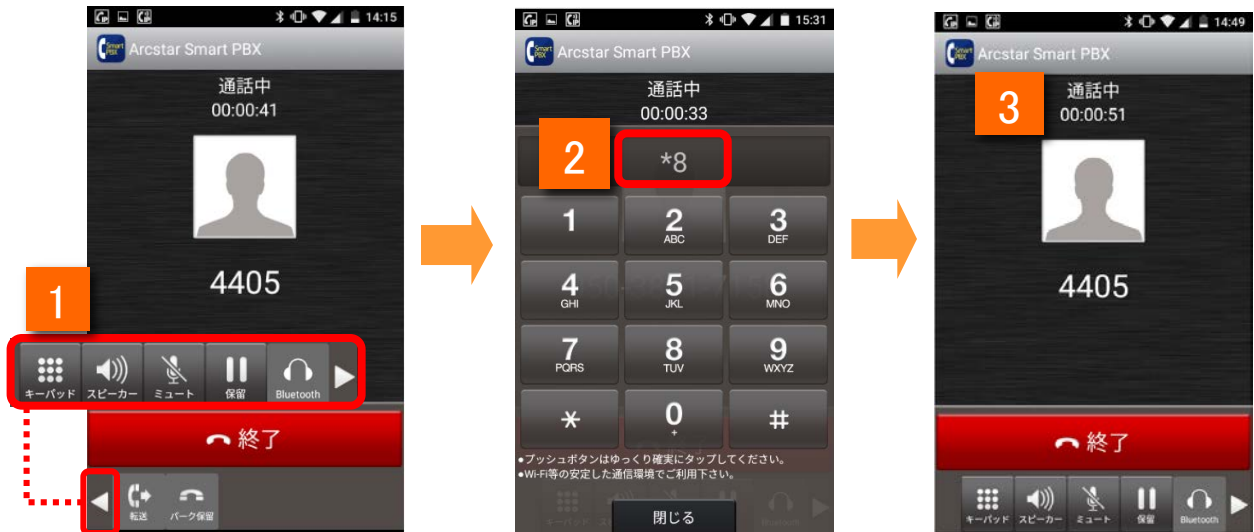
3 「転送いたします。転送先の番号を入力してください」というガイダンスが流れますので、転送先の番号を入力してください。  
通話が切断され、ブラインド転送が完了します。

転送先が応答せず、不在着信となった場合は、ブラインド転送の操作をした番号ではなく、発信元（転送される相手）の番号が着信履歴に残ります。

# 通話中の操作

## 転送キャンセル

転送開始後、転送先の呼び出しをダイヤル操作で中断できます。



1

転送の呼び出し中に「キーパッド」ボタンをタップします。

※画面下部に「キーパッド」ボタンが表示されていない場合は、「◀」ボタンをタップしてください。

2

キーパッド画面で『\*8』をダイヤルします。

転送の呼び出しがキャンセルされます。

3

転送開始前の通話状態に戻ります。

転送をキャンセルした直後に再度転送の操作をすると、「転送」ボタンが押せない場合があります。数秒間お待ちいただくことで「転送」ボタンが有効になりますので、再度「転送」ボタンをタップしてください。

# 通話中の操作

## Bluetooth機器を用いた通話(事前準備)

Android端末のBluetooth機能をONにしてください。

ご利用になるBluetooth機器をAndroid端末へ登録(ペアリング)してください。  
Bluetooth機器とのペアリング状態がご不明な場合は、下記手順にてご確認いただけます。  
(Android端末によって、画面遷移が異なる場合があります)



1 ホーム画面上でAndroid端末のメニューボタンをタップし、[設定]ボタンをタップします。設定一覧で「無線とネットワーク」の「Bluetooth設定」をタップします。

2 使用するBluetooth機器が「ペアリングされた機器」に表示されていることをご確認ください。

※ペアリングの方法は各機種ごとに異なりますので、ご不明な場合はAndroid端末や、Bluetooth機器の取扱説明書等をご確認ください。

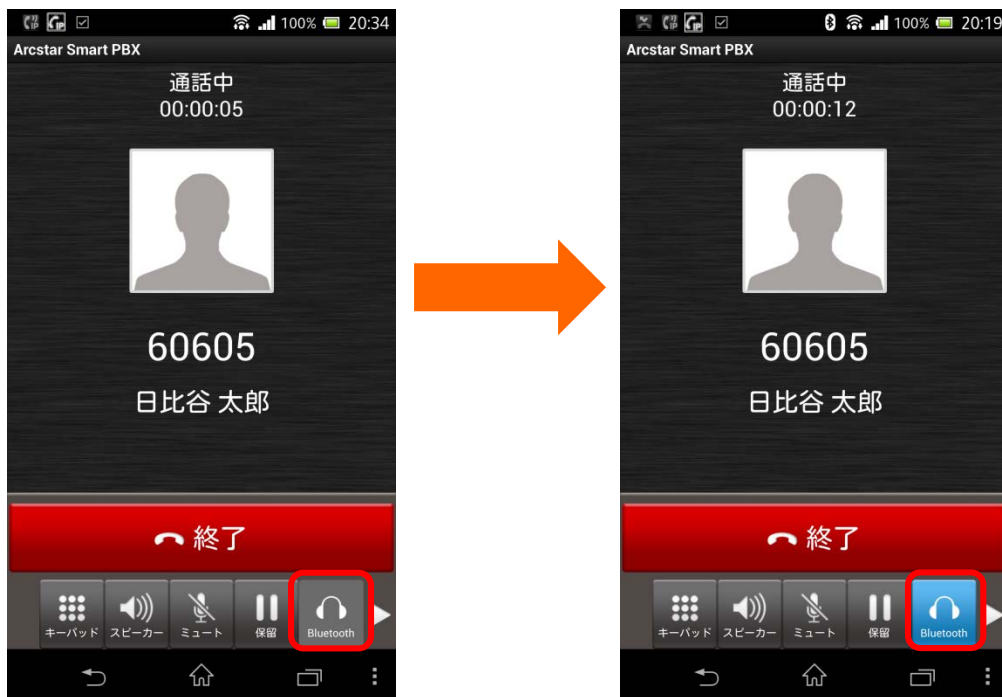
※その他、Bluetooth利用に関する注意事項については、P.88をご確認ください。

# 通話中の操作

## Bluetooth機器を用いた通話

ご利用になるBluetooth機器の電源を入れ、Android端末との接続が行われた状態でArcstar Smart PBXでの発着信をお試ください。

### ■ Bluetooth機器との接続が成功している場合



Bluetoothボタンをタップし、ボタンが水色に変わりますとBluetooth機器を利用した通話が可能です。  
※Android端末のマイク/スピーカー、ヘッドセット(有線)等での通話に戻したい場合は再度Bluetoothボタンをタップしてください。

### ■ (参考) Bluetooth機器との接続が成功していない場合



Bluetoothボタンをタップしても水色に変わらない場合は、Bluetooth機器が未登録、もしくは接続されていない可能性があります。P28の手順にて、Android端末とBluetooth機器が接続状態になっているかをご確認ください。

# 留守番電話機能

# 留守番電話機能

## 留守番電話を設定する

留守番電話機能を利用いただくためには、Web設定機能の設定が必要です。

<https://www.smart-pbx.jp/SmartPBX/Login> にアクセスしてください。「ご利用のご案内」に記載のWeb設定変更サイト「ログインID」「パスワード」でログインし、「不在時動作設定」の「留守番電話」もしくは「シングルナンバーリーチ」を設定してください。

ログインID  
パスワード  
ログイン

### ■内線番号情報2

No.	内線番号		Web設定変更サイト 端末ユーザーアカウント	
	拠点番号	端末番号	ログインID	パスワード
1	20	200	aaaabbbb	ccccddd
2	20	201	bbbeccc	ddddeeee

不在時動作設定

以下の不在時動作を設定します。

内線番号  
拠点番号 20  
端末番号 200

不在時動作  設定  未設定

転送/留守番電話設定  
転送先電話番号 05012340001  
半角数字、最大32桁 ハイフン[-]入力可

転送動作

無条件  設定しない  転送  留守番電話  
話中  設定しない  転送  留守番電話  
圏外  設定しない  転送  留守番電話  
無応答  設定しない  転送  留守番電話

(着信)呼出時間 5 秒  
(半角数字、最大99)

シングルナンバーリーチ設定  
呼出時間 1 秒  
(半角数字、最大99)

留守番電話  on  off

留守番電話/パスワード 1234

## 留守番録音されたメッセージを再生する

キーパッドの「留守録再生」ボタンを押し、ガイダンス後に対象の内線番号(拠点番号+端末番号)、パスワードをダイヤル操作で入力してください。その後、ガイダンスに従い、メッセージを再生してください。



<ガイダンス例>  
新規メッセージが1と既読メッセージが2あります。  
1を押すと新規メッセージフォルダを変更する場合は2を終了する場合は#を再度ガイダンスを聞く場合は\*を押してください。





# 電話帳機能

# 電話帳機能

## 電話帳を開く

電話帳機能のメニューを活用することで「新しいグループの作成」や「グループ編集」などが行えます

1

ホーム画面上の  をタップして、電話帳ボタン  をタップすると登録されている電話帳の一覧が表示されます



2



電話帳サービスを設定していない場合、端末の電話帳を表示します。

# 電話帳機能

2

電話帳画面の  をタップすると電話帳のグループ一覧が表示されます

※グループ一覧画面では、すでに登録済の電話帳の一覧を表示したり、新たな電話帳を登録することができます



電話帳 (グループ一覧)画面



※自分で作成したグループを選択している場合の表示例

## 機能紹介

1	全て (0)	全ての連絡先一覧が表示されます ※( )内は登録されている数
2	提携050番号 (0)	無料通話先のグループははじめから作成されています ※登録されるメンバーは無料通話先050番号が登録された連絡先です
3	内線通話先 (0)	内線番号の一覧が表示されます ※先頭が0,1から始まらない電話番号は、こちらに登録されます

※選択したグループにより、表示される項目が変わります

## 機能紹介

5		SmartPBXの各種設定が可能です。
6		SmartPBXを終了できます。
7		新しいグループを追加登録します 「新しいグループを作成する」(P.36)へ
8		グループの編集を行います。
9		登録済みのグループを削除します ※グループに登録されているメンバーは削除されません
10		設定メニューが表示されます ※選択しているグループにより、表示される項目が変わります

# 電話帳機能

## 新しいグループを作成する

電話帳をグループ分けをすることによって、電話帳の情報整理・活用が行なえます

1 電話帳画面で「グループ」をタップします



2 グループ一覧画面でAndroid端末のメニューキーをタップします。

※ご使用のAndroid端末の環境により異なります。



3 グループの追加ボタンをタップします



4 【4-1】今回追加するグループの名前を入力します  
【4-2】グループのメンバーに登録する連絡先をタップし、「✓」マークが表示されたことを確認します  
【4-3】左下の「作成」ボタンをタップして完了です



# 電話帳機能

## グループを編集する

グループの編集や削除を行うことができます

1

電話帳



をタップします



2

編集したいグループを指定します






# 電話帳機能

3

Android端末のメニューキーを押しグループの編集メニューを表示させます。



## 機能紹介

1		SmartPBXの各種設定が可能です。
2		SmartPBXを終了できます。
3		新しいグループを追加します
4		グループボタンの色設定をします
5		新しい連絡先を追加します

※本アプリケーションでは電話帳、グループ情報は端末の標準データをそのまま使用します。  
Googleアカウント(Gmail等)以外のデータを使用した場合グループの追加やグループの編集が一部正常に動作しない場合があります。

# 電話帳機能

## お気に入り(ワンタッチコール)に連絡先を登録する

よく電話をかける連絡先をお気に入り(ワンタッチコール)に登録することで、簡単に電話をかけることができます



1

電話帳



をタップして登録したい連絡先

1

をタップします

2

「連絡先情報」の



をタップしてお気に入りに登録したい連絡先を登録します

3

連絡先に複数の電話番号が登録されている場合は、登録したい電話番号を複数選んでタップしてください

# 電話帳機能

お気に入り(ワンタッチコール)に登録されている連絡先を削除する

お気に入り(ワンタッチコール)に登録されている連絡先を削除することができます



1

電話帳



をタップして編集したい連絡先

1

をタップします

2

お気に入りから削除したい連絡先の



をタップします

3

お気に入りから連絡先が削除されます

※「ワンタッチコール」の登録から削除されますが、「電話帳」の登録は削除されません



# 各種設定

# 各種設定

設定一覧から各種情報を確認・変更する



1

ホーム画面上の



をタップします。

2

「設定」タブをタップするか、または、メニューから「設定」をタップすると、一覧画面から各種メニューを確認できます。

# 各種設定

## 設定一覧画面各ボタン機能紹介



機能紹介			
1	アカウント設定	自端末の内線番号が表示されます。	P.44
2	アプリの設定	アプリの設定画面に移ります。	P.46
3	アプリの着信音設定	アプリの着信音設定画面に移ります。	P.62
4	サウンド/バイブ設定	Android標準の「サウンド/バイブ設定」画面を表示します。	—
5	デフォルトの通話アプリ解除	発信時のデフォルト通話アプリを解除します。	P.54
6	テストコール	通話テスト画面に移ります。	—
7	再接続	タップすると、再接続を行います。	P.74
8	接続状態設定	タップすると、ネットワークの接続状態を測定します。	P.51
9	ユーザマニュアル	タップすると、ユーザマニュアルをダウンロードします。	—
10	サービス紹介ページ	メンテナンス情報を表示します。アプリのバージョンアップもここから行います。	P.57
11	このアプリについて	バージョン情報画面に移ります。	P.58

# 各種設定

内線番号を確認する



1

自端末の内線番号が表示されます。タップするとアカウントの設定画面に移ります。

# 各種設定

## 内線番号設定値をクリアする

設定値を誤ってしまった場合や内線番号を入れ替える場合に設定値をクリアします。



1

ホーム画面上でステータスバーを下へスワイプし、  
プします。設定一覧で「アプリ」をタップします。



設定

[設定]ボタンをタッ

2

アプリ一覧の「Arcstar Smart PBX」をタップします。

3

「データを削除」をタップすると、ポップアップが表示されます。

「OK」ボタンをタップすると、Arcstar Smart PBX内の設定値が削除されます。

# 各種設定

## アプリの設定画面各ボタン機能紹介



機能紹介			
1	着信方法	着信方法を設定します。プッシュ通知/通常のいずれかを選択します。	P.46
2	アプリの自動起動	端末起動時に本アプリの起動を行うかどうかの設定を行います。	—
3	携帯電話モード発信設定	携帯電話発信設定の設定画面が表示されます。	P.16
4	通話音量設定	通話音量設定画面を表示し、マイク、スピーカーの音量レベルを変更することができます。	P.52
5	Universal One接続設定	Universal One接続の設定ができます。	P.80
6	電話帳サービス設定	Smart PBXと連携する電話帳サービスを設定します。  ※電話帳サービス設定については「アプリ操作マニュアル・電話帳サービス設定編(Android)」をご確認ください。	—
7	メッセージの設定	メッセージの設定ができます。 (※現在ご利用いただけません)	—
8	高度な設定	高度な設定については、本マニュアルの「高度な設定画面各ボタン機能紹介」をご覧ください。	P.49

# 各種設定

着信方法を選択する



1 アプリの設定の[着信方法]をタップすると、通知・非通知の設定画面が表示されます。

## 機能紹介

1	プッシュ通知ボタン	タップすると「プッシュ通知」に設定されます。
2	通常ボタン	タップすると「通常」に設定されます。
3	キャンセルボタン	「アプリの設定」へ戻ります。

# 各種設定

## 電話帳サービスを設定する



- 1 「電話帳サービスを利用」にチェックを入れます。
- 2 「電話帳サービス」設定をタップし、ポップアップ画面でSmart PBXと連携する電話帳サービス名を選択します。
- 3 「電話帳サービス設定」の下部に選択した電話帳サービス名が表示されていることを確認します。
- 4 電話帳サービスのアカウント情報(ログインID/パスワード/サーバ情報)を入力し、「保存」をタップします。

上記の設定により、ご契約の電話帳サービスで履歴・電話帳の参照、電話帳サービスアプリからのSmart PBX発信が可能になります。

※電話帳サービスの利用には別途契約が必要です。

※電話帳サービス設定については「アプリ操作マニュアル・電話帳サービス設定編 (Android)」をご確認ください。



# 各種設定

## プッシュ通知を設定する

「プッシュ通知」を設定すると、アプリを立ち上げていない状態でも、着信を受けることができます。

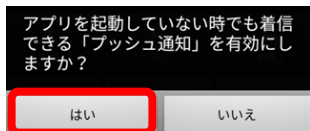


1 アプリの設定一覧下部に表示されている[着信方法]をタップします。

2 [プッシュ通知]をタップします。  
[プッシュ通知]の選択が反映されれば、設定完了です。

※一斉着信を設定している場合、プッシュ通知を有効にしている端末とIPフォンでは鳴動のタイミングが異なる場合があります。

※利用端末種別をスマートフォンからIPフォンに変更する場合、事前にスマートフォンアプリの着信方法を「通常」に切り替える必要があります。(本操作を行わない場合、端末種別を変更後、正常に着信できません)



「プッシュ通知」の使用についてポップアップ画面が表示されます。

- ・アカウント設定済みの場合:バージョンアップ後のアプリ起動時
  - ・アカウント未設定の場合:新規インストール、バージョンアップ時
- 「はい」を選択すると、プッシュ通知が「ON」に設定されます。  
※プッシュ通知機能の利用有無は設定画面で変更できます。

# 設定一覧

## 高度な設定画面各ボタン機能紹介



機能紹介			
1	スリープ中のWi-Fi起動	端末スリープ中のWi-Fi接続状態の設定を行います。	—
2	エコーキャンセラ設定	エコーキャンセラを有効にするかどうかを設定出来ます。	—
3	受話音声遅延制御	受話音声の遅延を制御するかどうかを設定出来ます。	—
4	送話音声遅延制御	送話音声の遅延を制御するかどうかを設定出来ます。	—
5	音声コーデック選択	帯域を広帯域、中帯域に設定することが出来ます。	P.63
6	ログ送信	ログ送信の方法については、本マニュアルの「ログをメールで送る」をご覧ください。	P.66～
7	ネットワークモニタ	ネットワークモニタ機能を有効にするかどうかを設定できます。	P.51
8	スライドして通話を終了	通話終了ボタンをスライド方式に変更できます。	P.52
9	機能ボタン表示	キーパッド画面の機能ボタンの表示/非表示を切り替えることができます。	P.64

# 各種設定

## ネットワークモニタを設定する



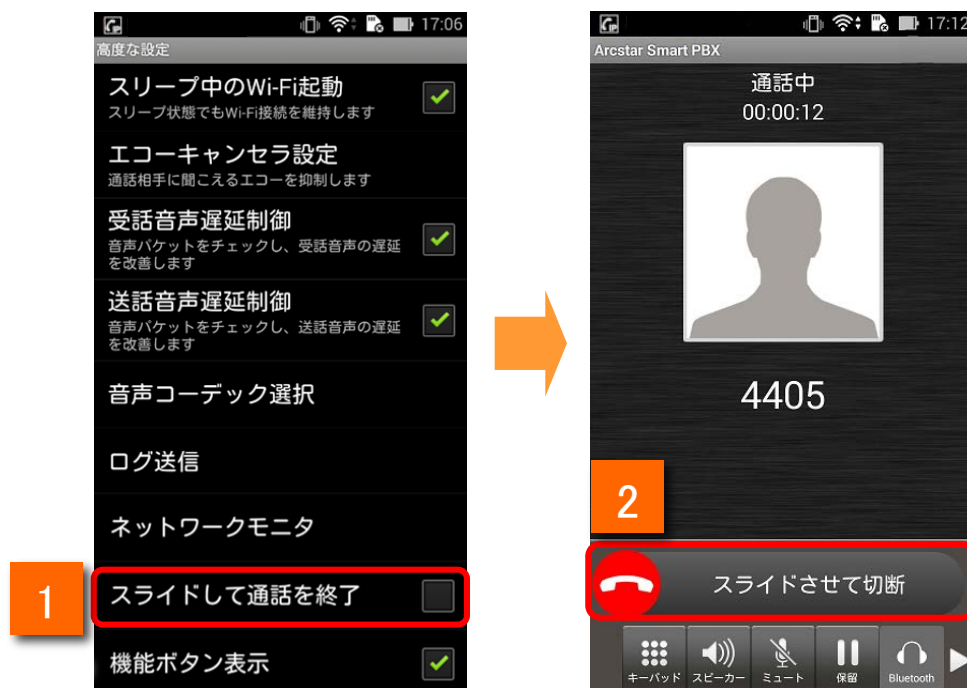
- 1 「高度な設定」の「ネットワークモニタ」をタップすると、ネットワークモニタの機能を設定できます。

### 機能紹介(ネットワークモニタ)

1	発信/通話時の接続状態自動測定	接続状態の自動測定を実施するかどうかを設定出来ます。接続状態測定機能については、本マニュアルの「接続状態測定」をご覧ください。	P.76
2	接続状態アラーム音	通話品質アラーム音を鳴動するかを設定出来ます。	—
3	着信時の接続状態自動測定	接続状態の自動測定を実施するかどうかを設定出来ます。	P79

# 各種設定

## 通話終了ボタンを変更する



スマートフォンに搭載されている近接センサーの動作が不安定になると、通話中のタッチパネル操作が一時的に有効になり、誤操作による通話の切断が発生する場合があります。

通話終了ボタンをスライド式のボタンに変更することにより、近接センサーの動作不良時に意図しない通話の切断が発生しにくくなります。

- 1 「高度な設定」の「スライドして通話を終了」のチェックボックスをタップしてチェックを入れます。(初期設定時はオフに設定されています)
- 2 通話画面に「スライドさせて切断」と表示されます。赤い受話機のボタンを左から右へスライドさせると通話を終了させることができます。

### 【※近接センサーとは】

近接センサーはスマートフォン端末において、顔などの接近を感知し、通話中の画面タッチ操作を無効にする等、誤作動を防ぐ機能です。

# 各種設定

## Arcstar Smart PBXの通話音量を設定する



- 1 アプリの設定の[送話音量設定]をタップすると、Arcstar Smart PBXの送話音量・受話音量の設定画面が表示されます。

### 機能紹介

1	送話音量自動調整	送話音量を相手に聞き取りやすい音量に自動調整します。
2	送話音量	送話音量調整スライダーを表示します、
3	受話音量	受話音量調整スライダーを表示します。
4	送話音量調整スライダー	スライダーを動かすと設定値を表示します。スライダーの最小値、最大値はそれぞれ「-12」「+12」です。
5	受話音量調整スライダー	
6	OKボタン	設定値を登録して「通話音量」の画面へ戻ります。
7	キャンセルボタン	「通話音量」の画面へ戻ります。

- 2 [送話音量自動調整]にチェックを入れると、送話音量をアプリが自動調整します。チェックを外すと、手動で送話音量を調整することが可能です。


# 各種設定

## デフォルトの通話アプリ設定を解除する

デフォルト設定した通話アプリの解除について説明します(標準電話アプリをデフォルト設定していた場合の例)。



1

ホーム画面上でステータスバーを下へスワイプし、 [設定] ボタンをタップします。設定一覧で「アプリ」をタップします。

2

アプリケーション一覧の「電話」をタップします。

# 各種設定

## デフォルトの通話アプリ設定を解除する



1 「デフォルトでの起動」にある、「設定を削除」ボタンをタップします。



2 「デフォルトでの起動」が、「設定されていません。」に変更されます。

# 各種設定

## デフォルトの通話アプリを設定する

通話アプリのデフォルト設定について説明します。



1 ホーム画面上の  電話アプリをタップし、キーパッドの状態ではダイヤルボタンをタップして相手先の電話番号を入力し、  をタップします。

2 「Arcstar Smart PBX」をタップします。

3 「Arcstar Smart PBX」が選択されたことを確認し、[常時]をタップすると、Arcstar Smart PBXがデフォルトの通話アプリに設定されます。



# 各種設定

アプリのバージョン情報を確認する



1

[サービス紹介ページ]をタップすると、Arcstar Smart PBXのバージョンアップ情報が表示されます。バージョンアップがなければ、「最新版のソフトウェアをご利用中です。」と表示されます。

# 各種設定

このアプリのバージョンを表示する

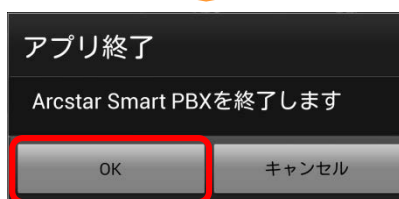
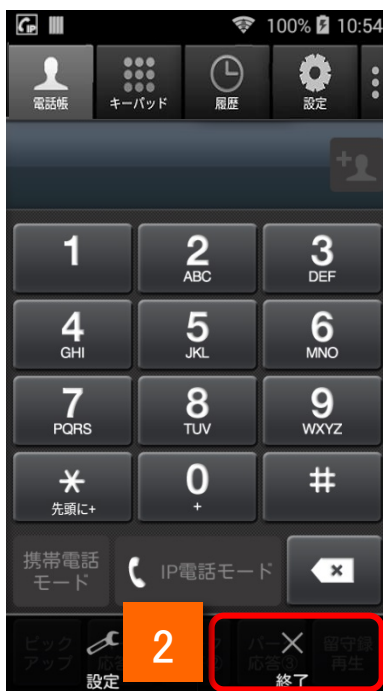


1

[このアプリについて]をタップすると、Arcstar Smart PBXのバージョン画面が表示されます。

# 各種設定

## アプリを終了する



1

キーパッド画面でAndroid端末のメニューボタンをタップするとメニューが表示されます。※メニューキーは、ご使用のAndroid端末の環境により異なります。

2

[終了]をタップするとアプリ終了の確認画面が表示され、[OK]をタップするとアプリを終了します。

3

アプリの設定画面からもアプリを終了できます。「設定」タブをタップし、最下部の[アプリの終了]をタップします。アプリ終了の確認画面が表示され、[OK]をタップするとアプリを終了します。

# 各種設定

## アプリをアンインストールする

通常のアプリケーションと同じアンインストール方法で行います。



1

ホーム画面上でステータスバーを下へスワイプし、



設定

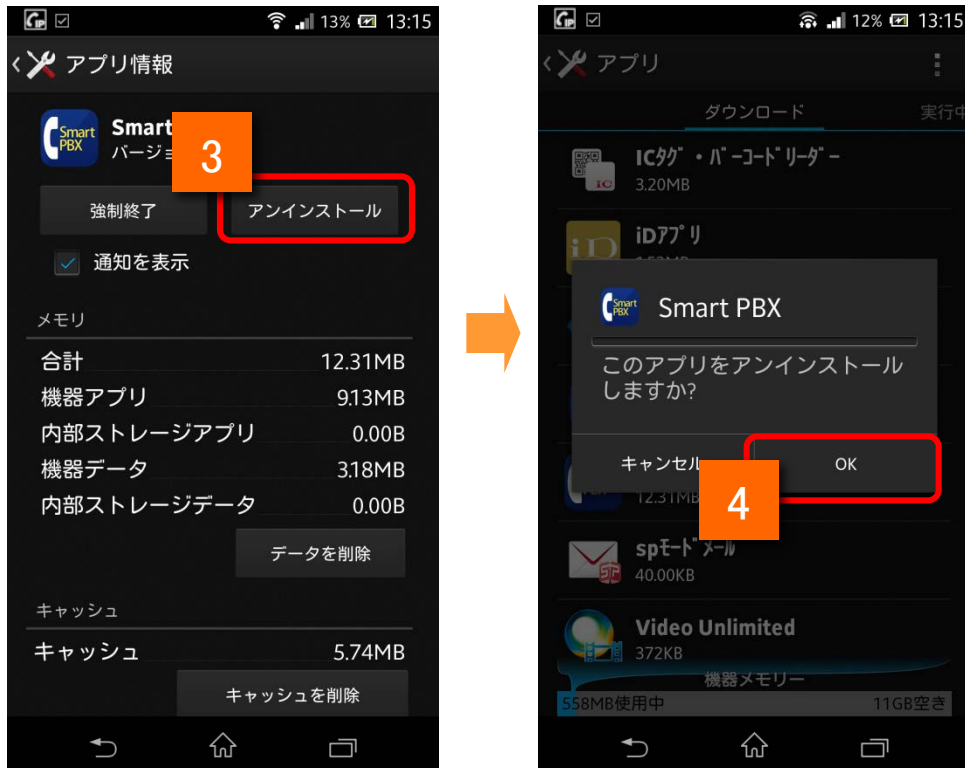
[設定]ボタンをタップします。

2

アプリケーション一覧の「Arcstar Smart PBX」をタップします。

# 各種設定

## アプリをアンインストールする



3

[アンインストール]をタップします。

4

アンインストールの確認が表示されます。[OK]をタップすると、アンインストールが実行されます。

# 各種設定

## アプリの着信音を変更する



1 [アプリの着信音設定]をタップすると、アプリ着信音の設定画面が表示されます。

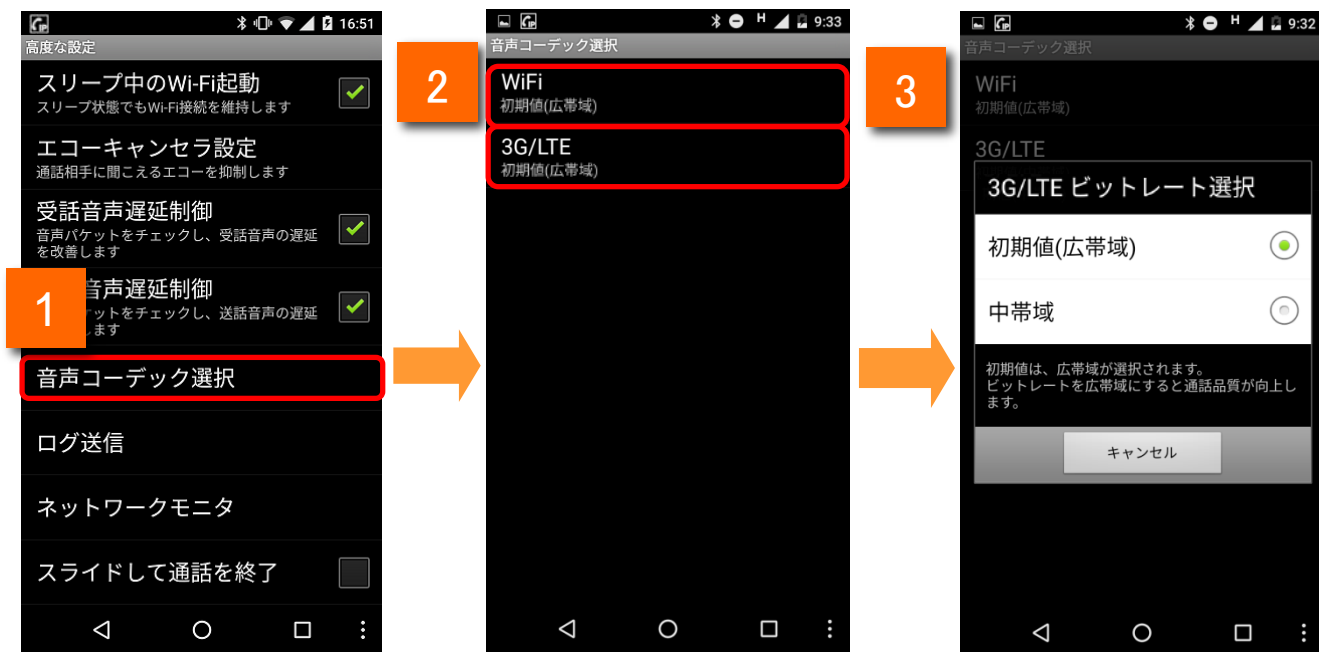
2 [端末の着信音から選択]または[SDカードから選択]をタップすると、着信音の選択画面が表示されます。

### 機能紹介

1	端末の着信音から選択	端末の「着信音」内音源が着信音として再生されます。
2	SDカードからから選択	外部ストレージ(SDカード)にある音源を着信音として再生されます。
3	携帯の着信音に合わせる	標準電話アプリに設定された着信音が再生されます。
4	選択着信音	タイトル名を押下すると選択され、音源が再生されます。
5	OKボタン	選択された着信音を登録して「アプリの着信音設定」の画面へ戻ります。
6	キャンセルボタン	「アプリの着信音設定」の画面へ戻ります。

# 各種設定

## 音声帯域を変更する



1

[高度な設定]から、[音声コーデック選択]をタップすると、音声コーデックの選択画面が表示されます。

2

設定したい通信種別を選択します。

3

設定したいビットレートを選択します。  
※ビットレートを広帯域にすると通話品質が向上します。  
ビットレートを中帯域にすると声の途切れが緩和されます。  
※初期値は、WiFi、3G/LTEのいずれの場合も広帯域です。

# 各種設定

## 機能ボタンの表示/非表示を切り替える



- 1 [高度な設定]の[機能ボタン表示]をOFFにします。  
(初期設定時はONに設定されています)

- 2 キーボード画面の機能ボタン(「ピックアップ」「パーク応答」「留守録再生」)の各ボタン)が非表示になります。



# トラブルシューティング

# トラブルシューティング


## ログを記録する

IP電話の通話に不具合が発生した場合、症状の問診と併せて、Arcstar Smart PBXのログ（操作や入出力の記録）の送信をお願いします。

本項目では、ログの記録方法と送信方法についてご案内します。



1

ホーム画面上の  をタップします。メニューから[設定]をタップし、Arcstar Smart PBX設定一覧を表示し、[アプリの設定]をタップします。

2

アプリの設定一覧で[高度な設定]をタップして高度な設定一覧画面を表示します。

3

高度な設定一覧で[ログ送信]をタップしてログ送信設定画面を表示します。

# トラブルシューティング

## ログを記録する

IP電話の通話に不具合が発生した場合、症状の問診と併せて、Arcstar Smart PBXのログ(操作や入出力の記録)の送信をお願いする場合があります。

本項目では、ログの記録方法と送信方法についてご案内します。



4 [ログの取得]をタップするとログ記録が開始されます。

5 ポップアップが表示されますので、「OK」をタップします。

# トラブルシューティング

## ログを停止する

不具合事象の再現が確認できたら、ログの記録を停止し、ログを保存します。



6 高度な設定一覧で[ログ送信]をタップしてログ送信設定画面を表示します。

7 [ログの取得]を再タップすると記録を停止し、ログが保存されます。

# トラブルシューティング

## ログをメールで送る

保存したログをメールで送ります。



8 高度な設定一覧で[ログ送信]をタップしてログ送信設定画面を表示します。

9 [ログの送信]をタップします。

10 ポップアップが起動するため、「OK」ボタンをタップします。

# トラブルシューティング

## ログをメールで送る



**11** 起動するメールアプリケーションを選択します。

**12** メールアプリケーションが起動しますので、内容を確認し、[送信]ボタンをタップして送信してください。

# トラブルシューティング

## ログを削除する

保存したログを削除します。



13 高度な設定一覧で[ログ送信]をタップしてログ送信設定画面を表示します。

14 [ログの削除]をタップします。

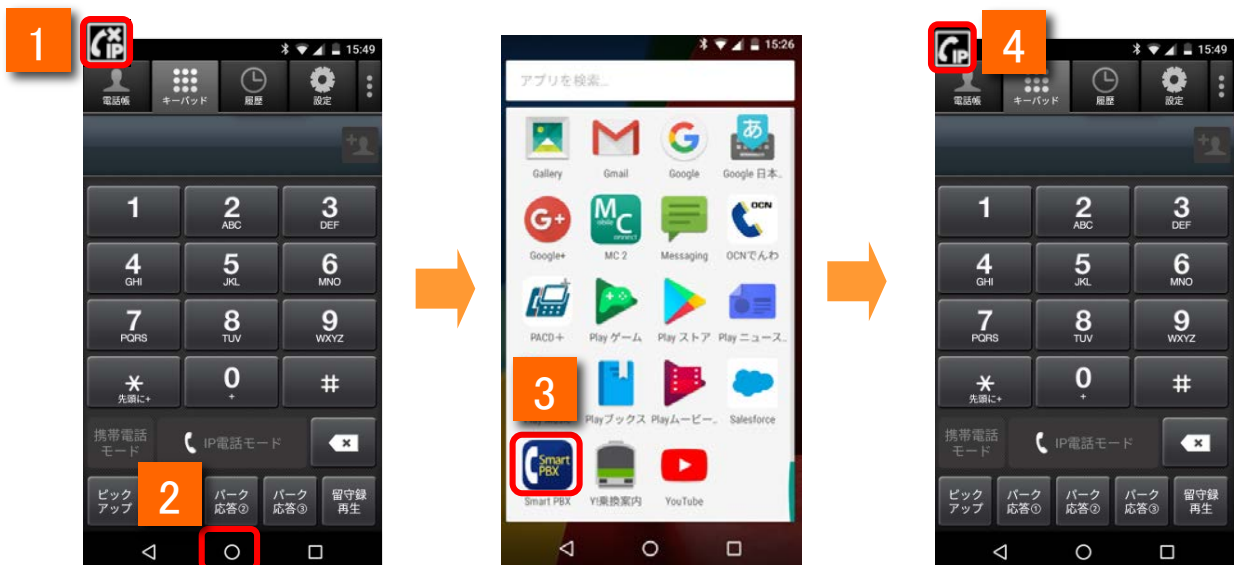
15 「ログを削除しますか?」が表示され、[OK]をタップします。

# トラブルシューティング

## 通話不可状態からの手動回復

Arcstar Smart PBXを起動後に認証エラー等で通話不可になってしまう場合、以下の操作を行っていただくことで復旧することがあります。（※端末の電波が不安定な環境にある場合を除きます。）

### 【アイコンをタップして復旧する方法】



- 1 ステータスバーのアイコンが通話不可であることを確認します
- 2 端末のホームボタンをタップし、ホーム画面を表示します
- 3 アプリ一覧画面から「Arcstar Smart PBX」をタップします
- 4 ステータスバーのアイコンが通話可能に変わったことを確認します



# トラブルシューティング

## 通話不可状態からの手動回復

### 【アプリ内の画面を遷移して復旧する方法】



1 ステータスバーのアイコンが通話不可であることを確認します

2 アプリ内の別画面に遷移させます。(例: 設定画面に遷移させた場合) 画面遷移後、再度接続状態に遷移します。

3 ステータスバーのアイコンが通話可能に変わったことを確認します

# トラブルシューティング

## 通話不可状態からの手動回復

### 【再接続機能を使用して復旧する方法】



- 1 ステータスバーのアイコンが通話不可であることを確認します
- 2 アプリの設定画面を表示し、[再接続] をタップします。
- 3 [再接続] をタップ後、アイコンが接続状態に遷移します。
- 4 ステータスバーのアイコンが通話可能に変わったことを確認します

# 接続状態測定

# 接続状態測定

## 自動モニタリング

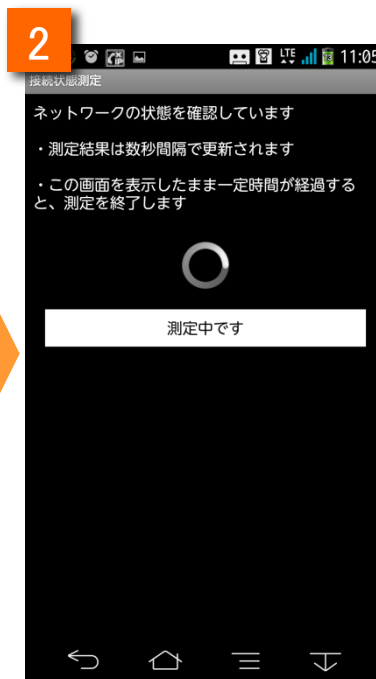
キーパッド画面、電話帳画面、履歴画面が表示された際、ネットワークの自動モニタリングが行われます。アイコンの通知により、発信前にネットワークの状態を確認することができます。  
※接続状態自動測定がONの状態である場合に限りです。



# 接続状態測定

## 手動モニタリング

接続状態測定をタップすることで、ネットワークの手動モニタリングが行われます。  
表示文言、アイコンの通知により、現在のネットワークの状態を確認することができます。  
※接続状態自動測定がON・OFFどちらの状態でも確認できます。



【NW状態:悪】

不安定です

【NW状態:良】

安定しています

【NW状態:不明・未取得】

測定中です

【NW状態:測定終了】

測定を終了しました

1 アプリの設定画面を表示し、[接続状態測定]の項目をタップします。

2 接続状態測定画面が表示され、手動モニタリングを開始します。

# 接続状態測定

## 通話中モニタリング

通話中状態になるとネットワークの自動モニタリングが行われます。  
表示文言、アイコンの通知により、通話中にネットワークの状態を確認することができます。  
※接続状態自動測定がONの状態である場合に限りです。



※接続状態アラーム音がONの状態、通話中ネットワークが不安定になった場合、通知音でも接続状態をお知らせします。

# 接続状態測定

## 着信中モニタリング

着信中状態になるとネットワークの自動モニタリングが行われます。  
表示文言、アイコンの通知により、着信中にネットワークの状態を確認することができます。  
※着信時の接続状態自動測定がONの状態である場合に限りです。



# Universal One連携

(Universal One接続オプション契約者のみ)

※本機能を利用する場合、端末本体の設定メニューにてお客さまネットワーク内のWi-Fi SSIDを登録する必要があります。また、Wi-Fi機能有効にする必要があります。



# Universal One連携

## Universal One接続設定画面各ボタン機能紹介



### 機能紹介

1	接続モード	接続モードの切替を行うことができます。	P.82
2	Wi-Fi登録	Wi-Fi SSIDの設定を行うことができます。	P.83
3	IP電話サーバ	接続するSIPサーバのアドレスを表示します。SIPアドレスモードが「任意」の場合、手動で入力することができます。	P.85

# Universal One連携

## 接続モードを設定する



- 1 Universal One接続設定の[接続モード]をタップすると、接続モードの設定画面が表示されます。

### 機能紹介

1	インターネットモードボタン	タップするとインターネットモードに設定されます。
2	Universal Oneモードボタン	タップするとUniversal Oneモードに設定されます。
3	キャンセルボタン	「Universal One接続設定」へ戻ります。

# Universal One連携

## Wi-Fi SSIDを設定する



1

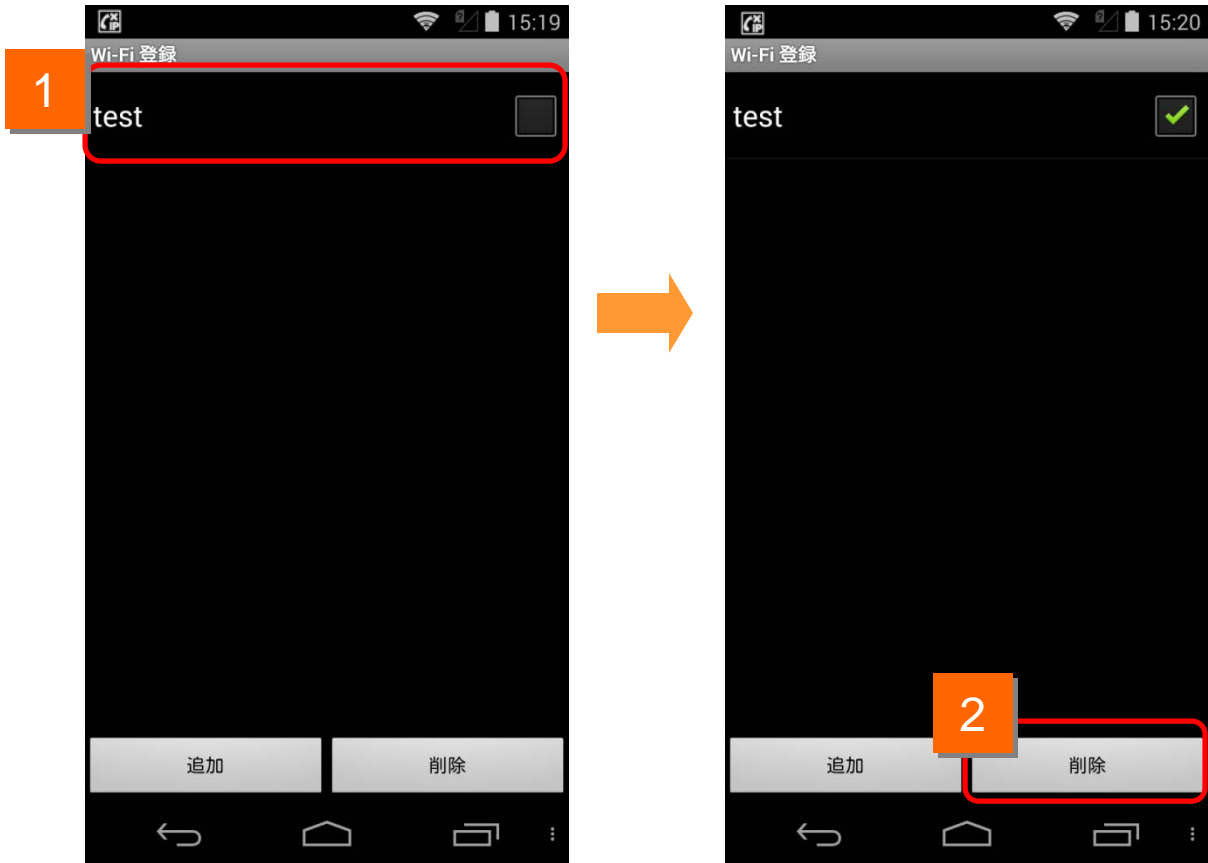
Universal One接続設定の[Wi-Fi 登録]をタップすると、Wi-Fi SSIDの登録画面が表示されます。

### 機能紹介

1	追加ボタン	タップするとSSIDを入力することができます。追加されたSSIDを持つWi-Fi-APIに端末が接続された場合は自動的にUniversal Oneモードで動作します。
2	OKボタン	タップすると入力したSSIDを登録します。
3	キャンセルボタン	Wi-Fi SSID事前設定画面に戻ります。

# Universal One連携

## Wi-Fi SSIDを削除する



1 削除を行うWi-Fi SSIDを選択します。

2 削除ボタンをタップすることで該当のWi-Fi SSIDを削除します。

# Universal One連携

IP電話サーバのアドレスモードを設定する



- 1 Universal One接続設定の[IP電話サーバ設定]をタップすると、IP電話サーバアドレスの入力画面が表示されます。

## 本アプリケーションのご利用について

# 制約事項

- 電波状況が悪い場所では、IP電話の通話が不安定になることがあります。音切れ、音声品質の劣化、音声の遅延、通話の終了などが発生します。
- マイクデバイスを使用する他のアプリとの競合により、通話ができない場合があります。この場合、警告画面が表示されます。
- Arcstar Smart PBX通話時、080/090番号へ着信が入ると、着信音が鳴り、応答／拒否画面に移ります。応答するとArcstar Smart PBX通話が切断され、080/090番号での通話となります。拒否するとArcstar Smart PBX通話が継続します。
- 080/090番号での通話中に、Arcstar Smart PBXへ着信が入ると、発信者には通話中を知らせるメッセージが流れ、080/090番号での通話は継続します。
- Arcstar Smart PBX通話時、080/090番号から発信すると、Arcstar Smart PBX通話は無音となり携帯着信時の「応答/拒否」画面に遷移します。「応答」を選択すると、Arcstar Smart PBX通話が切断され、「拒否」を選択するとArcstar Smart PBX通話が復帰します。
- 080/090番号での通話中に、Arcstar Smart PBXから発信するとアプリのキーパッドに発信した電話番号が表示され、080/090番号での通話は継続します。
- 一斉着信を設定している場合、スマートフォン端末とその他の端末(IPフォン/ソフトフォン)では鳴動のタイミングが異なることがあります。
- 一斉着信を設定している場合、他の端末が応答した後もアプリが10秒程度鳴動しつづけることがあります。(このとき、アプリの「応答」ボタンをタップしても通話はできません。)
- 利用端末種別をスマートフォン(Android)からIP Phoneまたはソフトフォンに変更する場合、事前にスマートフォンアプリの着信方法を「通常」に切り替える必要があります。(本操作を行わない場合、端末種別を変更後、正常に着信できません)
- お客さまの端末環境を含む通信設備や利用形態、ネットワークの混雑状況、他のアプリとの競合などにより、通話品質に影響が出る場合や、発信・着信および通話ができない場合があります。

# Bluetooth利用時の注意事項

1. Bluetooth機器は下記条件にて利用可能です。

Bluetoothバージョン	2.0+EDR 以上
対応プロファイル*	AVRCP

※上記に対応しているBluetooth機器、及びAndroid端末でも、ご利用できない場合があります。

**ご利用にあたっては、必ず実使用条件にて実機確認を行なってください。**

※ご利用のBluetooth機器やAndroid端末の取り扱い説明書をよく読み、注意事項に従ってください。

2. 下記原因により、音声の途切れやノイズなどで通話が困難になる場合があります。
  - ・Bluetooth機器とAndroid端末との相性や距離、遮蔽物の影響
  - ・Bluetooth機器やAndroid端末の状態（電池残量が残りに少ない状態での利用等）
  - ・電波干渉の影響（Wi-Fi (IEEE802.11b/g)等）
3. Bluetooth機器からの発信操作はできません。発信はアプリの画面で行ってください。
4. Bluetooth機器での通話 ⇄ Android端末本体のマイク/ヘッドセット(有線)での通話の切り替えができない場合、Bluetooth機器を一度切断し、接続し直してください。  
解決しない場合は、再度ペアリングから設定を行ってください。
5. Bluetoothでの通話後、音楽再生アプリ等を起動しても音楽を聴くことができなくなった場合、Bluetooth機器を一度切断し、接続し直してください。  
解決しない場合は、再度ペアリングから設定を行ってください。

プロファイルとは、Bluetooth機器の種類ごとに機能を標準化した規格のことです。Bluetoothでの通話を実現する場合、Android端末（スマートフォン等）、Bluetooth機器（ヘッドセット等）、利用するアプリケーションが同一のプロファイルに対応している必要があります。

■AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)

リモコン操作を行えるようにするための規格。Bluetooth対応のワイヤレスイヤホンなどに採用されている。

※携帯電話モード発信は端末標準の電話機能を使用するため、端末のBluetooth仕様に準拠します。